

# 連絡会ニュース

子どもと教育・くらしを守る広島県立学校教職員連絡会

No.1320 2025/02/06 (THU)

発行 広島高校連絡会事務局

Email [renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp](mailto:renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp)

HP <http://ww6.tiki.ne.jp/~renraku-kuko/>

携帯 090-1180-7644 (村井義幸)

090-9738-8264 (望月照巳)



## 正義は勝つとは限らない。

あるいは、正義は屈しない限り負けられない！

### 勝負の4段階について (松説の雀鬼 桜井章一)

最も優れた勝負の在りかた … 良い内容で勝つこと。 2番目に優れた勝負の在りかた…良い内容で負けること。  
3番目の勝負の在りかた … 悪い内容で負けること。 最も悪い勝負の在りかた … 悪い内容で勝つこと。  
今の日本社会は、新自由主義の浸透によって、「今だけ、金だけ、自分だけ」のシステムと価値観で覆い尽くされてしまった感がある。

トランプ流と安倍流政治のやり方で示されたのは、様々な方法で公的な資金を自分の懐に取り込むことに長けた人々が権力の中心に集まり、「それは間違っている」と主張したり批判行動を起こす人は、左遷され排除され潰されてきた。そんな世界が広がるとその現実が人々の精神や価値観を規定して「権力(者)とは、そのような私欲を貪ることが許される人」である。とか、「公務員も『憲法を遵守して国民に奉仕し、正義と公正を重んじる』必要はないのが自明のことだ」と説明する人々が、ネットを席卷しテレビで新聞のコメンテーターとして多用されてきたし、現在も多くのメディアで出演を続けている。

### 「解放教育」という名の反教育に抗して

海田高校の一時代を除いて私(たち)の教員生活は、「間違っていることは、間違っているといひ続ける」ことに拘って頑張ってきたし、それが多くの良心的な教職員を励まし続け、支持と共感を集めてきたことに間違いはない。そして、それは良い内容で負け続ける事でもあった。校内の分会長選挙で「1票差負けた」時も、選挙管理者たちを監視する必要を感じなかったし、「本当は勝っていたのではないか」と疑うこともなかった。それは、「良い内容で負け続ける」ことでもあった。勝負の在り方4段階の2番目に位置することは、現在では良く分かる。

### 「民主勢力」の中での頹廃(非難・排斥と荒唐)

今私は、ある法人の運営に係わっている。そこは一定の「あるべき姿」を作り上げることが可能な組織であると考えてきたし、いささかの課題があっても修復可能なのではないかと期待し、知恵と力を結集してきたつもりです。しかし、残念ながら、それだけの条件があると考えられてきたその組織においても、ある人物によって、排除と非難(決して批判ではなく)が繰り返され、良心的な人々を排除し分断してきたことが明らかになった。残念ながら、この組織においても、公正と正義は実現されず、排除と非難と分裂の結果になりつつある。「残念」ではあるが、それが今の私(たち)の力の限界であると言わざるを得ない。「良い内容で勝つ」ために、ハードルを越える努力は可能な限りしてみるつもりであるが、勝つことに拘って、「悪い内容で勝つ」ことには随したくない。そう考えています。(村井 義幸)



▼ 私たち人間は、「連帯して協力して事に当たる」という暖かく支え合う(時には、厳しい)能力と、非難し排除し虐めるといふ卑しい精神も持ち合わせている▼それは、時代の社会のシステムの反映として、持っているのだ▼原始共産主義の社会では、人々は支え合うことでのみ生き延びることができた。アメリカ原住民の崇高な精神は同時に「私」という個人の概念を持っていなかったことも知られている▼私たちが今も知っている、連帯する精神と、非難・排除する心は、資本主義システムと現在の教育体制の中で育まれたものだ▼どちらが人間として豊かに発達する道か、いずれの道が乗り越えるべきか。あまりに明らかであるにも係わらず、信頼し合うべき集団の中にさえ、人間性を傷つけ、傷口から出てくる血を見て、あざ笑うような行為が拡がるという悲しさの中に居る▼しかし、「私は永遠に失望しない」。(平塚らいてう)